

# 平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	人間と社会	科目		学年	1
担当者	若杉 高熊 竹田 角田 仁ノ平 吉岡			単位数	1
使用教科書	東京都教育委員会 「人間と社会」				
使用教材	東京都教育委員会 「江戸から東京へ」				
教科・科目の指導目標	価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実(人)に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	学習の視点を考える 人間関係を築く① 人間関係を築く② 学ぶことの意義① 学ぶことの意義②	生きていく上で大切にしたいことのワークや考察を通して、この教科を学習する目的を理解する。 アイスブレイキング/国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を向上させる。 積極的にコミュニケーションを図る態度を育成し、情報や考えなどを適切に伝える基礎的な能力を育成する。 現代社会に対する関心を向上させ、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 学ぶことと働くことの意義を理解し、社会的自立や職業的自立を涵養する。	6×1
6月7月	1学期期末考査	働くことの意義① 働くことの意義② 役割と責任を考える① 役割と責任を考える②	現代社会に対する関心を向上させ、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 学ぶことと働くことの意義を理解し、社会的自立や職業的自立を涵養する。 現代社会に対する関心を向上させ、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たし、合意形成に貢献しようとする態度を育成する。	6×1
7月10月	2学期中間考査	マナーと社会のルールについて考える① マナーと社会のルールについて考える② ネット時代① ネット時代②	豊かな自己形成に向け、他者とともに生きる自己の生き方について考察する。 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度を育成する。 情報社会の特質とその進展がもたらす影響について考察し、情報を選択・発信する力とモラルを育成する。 望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解する。	7×1
10月12月	2学期期末考査	選択し、行動する② 支え合う社会① 支え合う社会②	人の生き方の多様性を理解し、自らの意志と責任で、進路を選択決定する能力を育成する。 人間として生活が保障される社会保障制度の仕組みの意義や役割を理解し、現状と課題を考察する。 福祉や社会的支援など、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について認識	7×1
12月3月	学年末考査	文化の多様性① 文化の多様性② グローバル化が進展する社会に生きる 主権者としての自覚① 主権者としての自覚②	異なる文化や習慣、価値観をもった人々を理解し、共に生きていくことの大切さを理解する。 世界の生活・文化の多様性を理解し、異文化を理解し尊重することの重要性を考察する。 異なる文化や習慣、価値観をもった人々を理解し、共に生きていくことの大切さを理解する。 民主政治の本質について把握し、政治についての基本的な見方や考え方を育成する。 互いの個性を尊重しながら、役割を分担し、協力し合う態度を育成する。	9×1

評価の観点・方法	授業態度・ワークシート・体験活動
----------	------------------